

No.179 令和2年3月31日
高崎市農業委員会・高崎市農業会議所会報

農家の友

ホームページ <http://www.city.takasaki.gunma.jp>
E-mail nougyou@city.takasaki.gunma.jp

目次

- * 高崎市農地等利用最適化推進施策に関する意見書…… P2
- * 農業委員会・農業会議所活動報告(後期主なもの)
高崎市農地賃借料情報……………P3
- * 令和元年度農地パトロールの結果について
チャリティーバザー売上寄付
家族協ボウリング大会……………P4
- * 農Tube高崎
「高崎じまん」で高崎市産農産物をPR! ……P5
- * 令和2年度農作業労賃協定標準額……………P6
- * 高崎産を食べよう!!
女性農業委員活動報告……………P7
- * 農業者紹介シリーズ⑭
編集後記……………P8



なめこ(倉渕町川浦)

農地の貸し借りは、農地バンク登録をご利用下さい

詳細は高崎市農業委員会事務局農業振興担当まで(TEL.027-321-1299)

農業者の声を市政に

高崎市農業委員会では、1月7日に高崎市に対し「高崎市農地等利用最適化推進施策に関する意見書」を提出し、意見事項の推進について要請を行いました。意見書の作成にあたっては、農業委員・農地利用最適化推進委員等からの意見・要望を整理集約し、1月に行われた第31回農業委員会総会において審議し、2項目にまとめました。

高崎市 市長 富岡 賢治 様

高崎市農地等利用最適化推進施策に関する意見書

昨年、令和となり新しい時代を迎えましたが、元号が変わっても異常気象は変わらず、全国各地が多くの被害に見舞われました。

本県においても、4月の降雪や5月の降雹に加え、10月の台風19号では、本県でも4名の犠牲者が出たほか、農作物や、農地・農業用施設にも多数の被害を及ぼしました。

さらに平成30年9月に岐阜県において、日本で26年ぶりとなるCSFの発生が確認されて以降、終息が見えないまま、群馬県の野生イノシシからもCSFの陽性事例が確認され、平成18年に全面中止されていたワクチン接種が13年ぶりに開始される事態にもなりま

した。
本市においては、幸いにも、農業に関して広範囲かつ深刻な被害を受けることこそ免れましたが、災害に見舞わ

れた際に適切な対応ができるよう、農業者が自身で考え、備えることの重要性を再確認させられる1年となりました。

本市の農業振興については、独自の施策を展開されているほか、様々なイベント等で「高崎産農畜産物」の魅力を発信するなど多大なるご尽力をいただいております。大変心強いものとなっております。今後においても、施策のより一層の充実をお願いするものです。

つきましては、農業委員会等に関する法律第38条第1項に基づき、高崎市の農業振興施策に関して以下の意見を提出します。

令和2年1月7日

高崎市農業委員会

会長 今井 隆

① 中山間地でも耕作の継続が

可能となる施策の強化について

本市の中山間地域は、主に河川の上流域に位置し、その立地特性から、農業生産活動による土地の保全や水資源かん養等の公益的機能の発揮を通じて、市民の生活基盤を守る重要な役割を果たしています。

その反面、中山間地域の農地においては、農業生産条件の不利性から耕作放棄地が増加し、平地よりもその比率が高い傾向にあります。

耕作放棄地では、荒廃した農地が原因となつて、鳥獣害、病虫害、土砂崩れ等の被害が多く発生しており、農家の高齢化と相まって後継者不足を加速させる要因となっています。また、そうした地域では、農業従事者の不足を補うため効率的な作業を行いたくても、大型の農業用機械が入れないよう

な幅の接道しかない農地も多く、その傾向がより顕著となっている状況です。

そこで、条件不利地を対象とした中山間地域等直接支払制度などはあるものの、ぜひ国に対して、本市から中山間地域でも耕作を継続していただけるような施策の強化を要望していただきたい。また、本市においても、そうした施策の実効性を高めるため、地域における基盤整備を促進し、狭小な圃場を少しでも大型化できるように下地づくりにご尽力いただきたい。

② 農業参入に対する支援策の

拡充について

農業従事者の減少傾向に歯止めがかからない要因のひとつは少子高齢化です。これから高齢によるリタイヤが相次ぐことは必至で、農業従事者・新規参入者を少しでも増やしていくことは喫緊の課題といえます。

現在も、新規参入希望者に対して、農業機械の取扱いや農業経営に関する研修、農畜産物への指導等について、県やJAと一体となつて支援を進めていただいているところですが、これまでに以上に拡充をお願いしたい。

例えば、新規就農者には、農地の確保とあわせて、労働力の確保が難しいという課題がありますが、農作業の負担を軽減するため、一定の経験を積んだ新規就農者には更なる規模拡大が図れるようなスマート農業について導入しやすくするなど、さらなる支援を検討していただきたい。

農業委員会・農業会議所活動報告(後期:主なもの)

月	日	曜日	内容	開催場所	月	日	曜日	内容	開催場所
9	3	火	北部・南部事前協議	171会議室	12	3	火	北部・南部事前協議	171会議室
	5	木	第27回農業委員会総会	172会議室		5	木	第30回農業委員会総会	171会議室
	20	金	農業委員会全体研修会	藤岡すみかほみらい館		20	金	農家の友編集会議	農業委員室
	30	月	運営協議、事前調査	農業委員室ほか		25	水	運営協議、事前調査	農業委員室ほか
10	2	水	北部・南部事前協議	保健センター第4会議室	1	27	金	北部・南部事前協議	171会議室
	4	金	第28回農業委員会総会	171会議室		7	火	第31回農業委員会総会 高崎市農地等利用最適化 推進施策に関する意見書提出	農業委員室ほか
	11	金	農家の友編集会議	農業委員室		23	木	農業委員会活動推進研修会	藤岡すみかほみらい館
	30	水	運営協議、事前調査	農業委員室ほか		30	木	運営協議、事前調査	農業委員室ほか
11	1	金	北部・南部事前協議	171会議室	2	3	月	北部・南部事前協議	171会議室
	6	水	第29回農業委員会総会	171会議室		5	水	第32回農業委員会総会	171会議室
	16	土	第33回高崎市農業まつり	もてなし広場		28	金	運営協議、事前調査	農業委員室ほか
	17	日				3	火	北部・南部事前協議	171会議室
29	金	運営協議、事前調査	農業委員室ほか	3	5	木	第33回農業委員会総会	保健センター第4会議室	
					17	火	第2回農業経営講座	農業共済高崎支所	
					30	月	運営協議、事前調査	農業委員室ほか	



高崎市農地賃借料情報

平成31年1月から令和元年12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10a当たりの年額)は、以下のとおりになります。
令和2年1月1日

高崎市農業委員会

【田(水稲)の部】

締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
高崎地域	5,800	10,000	1,000	249
倉渕地域	9,100	14,800	2,500	27
箕郷地域	5,700	10,000	1,000	15
群馬地域	3,700	5,000	1,900	6
榛名地域	6,000	10,000	2,000	2
吉井地域	8,000	8,000	8,000	1
(参考)高崎市平均	6,100			300

【畑(普通畑)の部】

締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
高崎地域	5,900	15,000	1,000	63
倉渕地域	9,000	10,000	2,100	58
箕郷地域	5,400	12,200	1,500	37
群馬地域	7,900	14,600	5,000	12
榛名地域	4,600	11,500	1,800	19
吉井地域	4,600	9,600	1,800	12
(参考)高崎市平均	6,600			201

*改正農地法の施行により「賃借料情報」を提供します。この「賃借料情報」は今まで制定されていた「標準小作料」と違い、拘束力はなく、賃借料決定の参考として提供するものです。農地の賃借料を決定する際の判断材料にご活用ください。なお、施設栽培等により賃借料が地域の平均額と大幅に相違する場合は除いています。

令和元年度農地パトロールの結果について

農業委員会では、農地パトロールを毎年実施しております。
農地パトロールと同時に荒廃農地の発生及び解消について、調査を行っております。

荒廃農地とは、現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地を指します。

本年度は、令和元年8月1日から9月11日にかけて農地利用最適化推進委員及び農業委員による現地調査が行われ、結果は右記のとおりでした。

年度	荒廃農地面積 (ha)
平成30年度	580
令和元年度	603



**高崎市農業まつり
自立経営農家研究協議会による
農産物チャリティーバザー**
〜売上金を寄付〜

昨年11月16日(土)、17日(日)の2日間、もてなし広場において、第33回高崎市農業まつりが盛大に開催され大変な賑わいをみせました。

この日、当農業会議所では、自立経営農家研究協議会の各支部代表者の協力により、多くの農家の皆さんから新鮮野菜等を寄付していただき、今年も恒例の農産物チャリティーバザーを開催しました。

この2日間の売上金は、12月20日に高橋則明会長と成田邦夫事務局局長が末広町の社会福祉協議会事務局を訪れ、寄付金として手渡しました。

記		
1. 寄 付 者 数		220 名
2. 売 上 金 額		174,400 円
(内訳)		
寄 付 金		67,054 円
出品者への謝礼等		107,346 円

家族協ボウリング大会

昨年12月、高崎市家族経営協定農家研究協議会後継者部会・女性部会では農業委員会会長杯争奪ボウリング大会を行いました。

この大会は、始めてから今回で27回目になります。今年も14人の会員が参加して、歌川町のパークレーン高崎ボウリング場で行なわれました。全員がそれぞれのグループに分かれ、和やかにプレイを楽しみました。成績は男女別、また、順位は得点順ですが、参加者はハンデを持っていますので、対戦はまったくの互角。その日の出来が勝負です。上手な方もいますが、過去の成績で上位入賞していると自分の持っているハンデは低くなるため、それなりの人でも全くひけをとりません。むしろ初参加者は、一ゲーム50ポイントのハンデを生かし有利に展開することが出来ます。成績以上に大切なことは、普段中々会うことが少ない仲間たちと楽しく交流をすることです。

大会終了後は会場を東町に移し、表彰式を行ないました。今井会長から上位者の表彰を行い、副賞を贈呈しました。残念ながら賞を逃した人には、参加賞が贈呈されました。その後、懇親会に移り、賑やかに楽しい中で終了することが出来ました。大会の成績は左の通りです。

三位	準優勝	優勝	
天田 晃	長谷川 亘	大塚 一吉	後継者部
安藤 美智子	天田 秀子	大塚 登美子	女性部



▲プレイを楽しむ参加者

採れたてリアル農業ライフ

毎旬配信!

農Tube高崎

ノウチューブたかさき

高崎市は、ブランド・シティプロモーションとして、農業の魅力を伝える農業系YouTubeチャンネル「農Tube高崎」を2019年7月24日から公開しています。

全国的に農業を取り巻く環境は、就労者の高齢化や後継者不足などが大きな問題となっています。その解決策の一つとして、このプロモーションでは、農家の方々にスポットをあて、農業の面白さやプロならではの技術を映像で伝え、幅広い年齢層の方々に農業への関心を高めてもらうことを狙いとしています。

今回、番組の進行役として、群馬県在住の若手俳優であり農業未経験の「手島実優」と「富井大遥」の2名を「農チューバー」として起用し、農家の人柄を紹介するとともに農家へ弟子入りし、農作物の生産にも取り組んでいます。

これまでに21本の動画配信を行っており、チャンネル登録者数は1,690人、視聴回数は4万7千回を超えています。

今後も様々な観点から、高崎市の農業の魅力を配信してまいりますので、ぜひチャンネル登録をしていただき、多くの方に農業に興味を持っていただきたいと思います。



「高崎じまん」で高崎市産農産物をPR!!

「高崎じまん」は、高崎オーパ1階にあり、市内で生産されたスイーツや加工品はもちろんのこと、採れたての野菜や果物なども取り扱っています。店内には、高崎市内のおいしいものが所狭しと並び、連日、買物客で賑わっています。

出荷されている農産物は、「高崎ブランド農産物を育てる会」による審査をクリアし承認を受けた農業者が生産したもので、現在、約110人の生産者が承認されており、その日に収穫された新鮮な農産物を出荷しています。

開店当初は、お土産コーナーというイメージが強く、野菜を購入するお客様は少なめでしたが、日々、試食や宣伝を繰り返していくことで“新鮮で美味しい高崎産の野菜が並んでいるお店”としての認知度も上がり、今では野菜を目当てに来店するファンもいるほどです。

現在、販路の開拓を検討している方や「高崎じまん」への出荷に興味のある方は、農林課(027-321-1317)までお問い合わせください。



令和2年度 農作業労賃協定標準額

高崎市農業委員会

- この金額は、農業委員会が調査したものを平均したものです。実際の金額については、本表を参考に お互いの話し合いで決めてください。
- 標準額は、消費税を含んでいます。また、機械の回送料は含んでいませんので加算してください。
- 標準額は、整理地を基準としています。未整理地・小区画地等の圃場の条件や、倒状の刈り取り等の作業難易度により加算してください。
- 集落営農組織内の労賃は、本標準額とは関係なく、各組織で決定した金額が優先します。また、地域での取り決めがある場合は、そちらを優先してください。
- 1日は8時間とします。

作業名		単位	円
水稲作業	耕起(ロータリー)	10a	7,122
	代かき(1回)	10a	6,872
	畦ぬり(片側機械塗り)	1 m	74
	育苗代(芽出し)	1 箱	406
	育苗代(緑化)	1 箱	744
	機械植(植付のみ)	10a	8,093
	機械植(施肥田植、肥料委託者もち)	10a	9,694
	畦畔管理	1 m ²	38
	水田防除(薬代は委託者もち)	10a	1,882
	バインダー刈取(結束なわ請負者もち)	10a	9,496
	自脱コンバイン(結束なし、カッター)	10a	17,972
	自脱コンバイン(結束なわ請負者もち)	10a	18,123
	自走式脱穀機	10a	7,684
	稲わら梱包等(テッター・ペーラー、反転・結束)	10a	9,543
	乾燥	60kg	993
	籾すり	60kg	991
乾燥・調整(籾すり含む)	60kg	1,931	
畑	耕起(ロータリー)	10a	6,930
	桑抜根	10a	35,108
果樹作業	専門作業(剪定)	1 時間	1,285
	専門作業(高接)	1 時間	1,443
	摘果	1 時間	1,011
	収穫	1 時間	1,028
	選果	1 時間	998
麦作業	耕起(ロータリー)	10a	7,565
	覆土(テラー)	10a	4,722
	耕起・播種(ロータリーシーダー)	10a	13,139
	除草剤散布(薬代は委託者もち)	10a	1,936
	麦踏み(ローラー鎮圧)	10a	2,029
	バインダー刈取(結束なわ請負者もち)	10a	8,337
	自脱コンバイン(結束なし、カッター)	10a	17,684
	自脱コンバイン(結束なわ請負者もち)	10a	18,216
	自走式脱穀機	10a	7,568
	梱包等(テッター・ペーラー、反転・結束)	10a	8,900
	乾燥	60kg	891
乾燥・調整	60kg	1,435	
人手間(農作業全般)		1 日	8,947
オペレーター賃金		1 時間	1,952
ハンマーナイフ(草刈)		10a	6,640
椎茸 駒植え請負(ドリル作業なし)		1 袋	709
運搬費(米・麦、整理地)		10a	2,557
除草作業(刈払機)		10a	10,432
遊休農地管理(耕運・草刈・畦畔等管理)年3回		10a	37,102



～なめこの オイスター炒め～

材料【2人分】

- ・なめこ…………… 100g
- ・豚バラ肉…………… 200g
- ・もやし…………… 100g
- ・万能ねぎ…………… 30g
- ・オイスターソース…大1
- ・さとう…………… 小1
- ・塩、こしょう…………… 少々
- ・ごま油…………… 小1

作り方

- ①なめこは流水でさっと洗う。豚肉は5cmの長さに切る。もやしは洗ってひげ根をとる。
- ②フライパンにごま油を熱し、豚肉を入れ、よく炒める
- ③もやしを加え、しんなりするまで炒めたら、なめこ、オイスターソース、さとうを加えて炒め、塩、こしょうで味を整え、最後にねぎをちらす



●●●●● 「高崎産を食べよう!!」コーナーの裏側紹介 ●●●●●

これまで、表紙を飾った農産物を使ったレシピを紹介してきたこのコーナー。農産物の美味しい食べ方を提案する事で、新たな魅力をお伝えする事ができればと、レシピの考案から、掲載用の完成品の調理まで、女性農業委員の皆さんが行っています。ご紹介してきたレシピは、すべて実際に調理をして美味しさも保証付きです！皆さんも是非、作ってみてください！！



女性農業委員活動報告

昨年に引き続き、2月6日に農林課主催の「おいしい高崎発見!授業」において、女性農業委員5名が講師となり北部小4年生と「すいとん」の調理実習を行いました。

材料は全て高崎産を使用し、参加した生徒からは「とても美味しかった!」と好評でした。



農業者紹介シリーズ

14



高崎市箕郷町富岡
永井 保伸 様

第14回の農業者紹介は、箕郷町富岡の永井保伸さん(49才)です。永井さんは農業を営む父からの勧めで、10年程前にそれまで勤めていた会社を辞め就農しました。就農前は、草刈り程度しかした事が無く、「剪定一つとっても試行錯誤の連続で、就農から10年が過ぎた今でも、なかなか父のようにうまくできません」と、果樹栽培の難しさについて語って

くれました。

現在は、ウメ5haに加え、シソを20a栽培し、ウメに特化した農業経営をされています。ウメは単一品種の栽培では結実しないため、織姫、梅郷、白加賀、南高の4品種を中心に、複数の品種を栽培しているとの事です。

栽培にあたってのこだわりを伺うと、「化学肥料を極力抑え、牛糞などの有機質の堆肥を中心に施しています。消毒も、つねに梅林の様子を見て、病害虫の発生に合わせて効果的に行う事で、散布回数が必要最小限とするよう心掛けています。手間はかかりますが、できるだけ品質の良いウメをお届けしたいと考えています。」と、消費者の事を第一に考える永井さんの思いをお聞きすることができました。

生産した梅はJAへ生梅として出荷するほか、自身で設置した加工施設で、梅干し、ねり梅、梅ジュース、梅干しフレークなど、様々な商品に加工し、高崎駅前の商業施設や、首都圏百貨店内のセレクトショップで販売しています。

生産に加え、加工品の製造・販売も積極的に進めている永井さんは「消費者がウメを口にする機会

が増えるような、新しい食べ方の提案ができる新製品の開発を行いたいです。将来的には、飲食店で定番メニューの食材として使用していただけのような商品や、インターネットを利用した通信販売にも力を入れられたらと思っていますが、なかなかそこまで手が回らなくて...。」と、新たなチャレンジについても力を入れています。

今後について伺うと、「栽培面ではジョイント栽培などの新技術を取り入れて効率化を図っていきたいです。より良いウメを作り続ける事が、信用と付加価値を高める事につながると思うので、これからも、父の代からお付き合いの続く現在の取引先などの信頼を裏切る事なく、高品質なウメを作り続けていきたいです。」と、ウメづくりに対して真摯に向き合っている決意を語ってくださいました。



表紙の写真
倉淵町川浦にて

募集しつづけます

編集委員会では、皆様からの身近な情報から、ご意見、ご要望、表紙の写真(農業関係)を募集しています。
ぜひ農業委員会事務局まで。

編集後記

昨年5月、元号が平成から令和へと変わった数日後に、高崎市北部の箕郷・榛名地区に降雹があり特産の梅の実等に変な被害が出ました。その後も、9月の15号、10月の19号と、大型の台風が立て続けに日本列島に上陸し、各地で河川の氾濫による被害が発生するなど、新時代「令和」はこうした災害に対する備えの大切さを再認識させられる幕開けとなりました。

私は高崎南部地区で施設野菜を作っておる者ですが、消費者が望む「安心安全な野菜」の生産に全力で取り組んでいきたいと考えています。私たち現役の農業者が、少なからず魅力ある農業経営をめざす事で、新規就農者や担い手農家の増加につながるのではないかと、張り切っているところです。

令和という新しい時代は、まだ始まったばかりです。私たち農業者と、JA・行政・農業委員会といった、農業を取り巻く者達がスクラムを組み、ワンチームとなつて、地域農業の未来設計図とも言うべき人・農地・農地プランを実践して、農業者一人ひとりが高度な農業経営に取り組みることができる時代になって欲しいと思います。(N・T)